

第102期（2021年3月期）
第2四半期決算資料

鉄で未来を 未来の鉄を



東証1部【証券コード5444】

2020年11月20日

《前回予想比較》

	通期予想(8/3)	通期予想(11/2)	増減	増減率
売上高	125,000百万円	132,000百万円	7,000百万円	5.6%
営業利益	8,000百万円	9,000百万円	1,000百万円	12.5%
経常利益	17,000百万円	20,500百万円	3,500百万円	20.6%
純利益（親会社株主）	4,000百万円	7,000百万円	3,000百万円	75.0%

《前期実績比較》

	前期実績	通期予想(11/2)	増減	増減率
売上高	181,964百万円	132,000百万円	△49,964百万円	△27.5%
営業利益	11,333百万円	9,000百万円	△2,333百万円	△20.6%
経常利益	23,125百万円	20,500百万円	△2,625百万円	△11.4%
純利益（親会社株主）	14,762百万円	7,000百万円	△7,762百万円	△52.6%

2021年3月期の見通しにつきまして

- ・ コロナの影響は、当初想定よりも軽微。
- ・ 海外事業については、中東事業は厳しい事業環境が継続する見込みも、米国・タイ・韓国では前期並みの利益確保の見通し。
- ・ 前回予想からは、売上高・利益とも上方修正。

日本

ヤマトスチール

- ECサイト(受発注システム)と短納期対応力が相まって、数量ベースでは約1割減と落ち込みを最小限に。
- 一方で販売単価の低下もあり、通期の営業利益は前期比で半減となる見通し。

大和軌道製造

- 軌道事業は前期並みの利益水準を確保する見通し。

タイ国

事業環境

- タイ経済は2Qを底に緩やかな回復基調。建設需要も、3Qは2Qと比較して改善。

H形鋼輸入

- 2020年1~9月累計で前年の年間輸入量を上回るも、中国の活発な需要もあり、足元の輸入量は減少傾向。
- 鋼材物流センターを活用した輸入材対抗の在庫販売もマーケットに浸透。

通期見通し

- 前年並みの利益確保の見通し。

米国

NYS

- 流通倉庫等の非住宅建設が堅調に推移。
- 圧延ミルの更新も、予定通り完了。

ASA

- 鉄道路線のメンテナンスは、落ち込みがあまり見られず。

通期見通し

- 前期並みの収益確保の見通し。

中東

事業環境

- 原料は「スクラップ安の鉄鉱石高」
- 需要は原油安を背景に、湾岸諸国のプロジェクト需要は官民ともに低迷。厳しい事業環境が続く。
- 足元はスクラップ価格が上昇、DRI外販数量は前期を上回る見通し。また中国でのピレット需要の高まりから市況は上昇傾向。

通期見通し

- 前期比で若干の改善を見込む。

ベトナム

現地体制構築

- コロナにより現地にエンジニアを派遣できず、4月以降はリモートでの指導を実施。9月に渡航が可能となり、エンジニアを派遣。

合併スタート後の業績

- 8~9月と営業利益黒字化を達成。

ダンピング調査

- マレーシアからの輸入H形鋼に対するダンピング調査が8月に開始。認定されれば、市況改善に繋がるものと期待。

韓国

現地体制構築

- YKSのCEOには、大韓製鋼の社長自らが就任。

合併化の効果

- シェア1位の現代製鉄に次いで、2位の東国製鋼に並ぶ業界シェアを「大韓製鋼グループ」として獲得。
- 原料購買や製品販売において、合併のシナジー効果を早くも発揮。操業面への効果も期待。
- 将来の工場移転を視野にいれ、引き続き大韓製鋼と緊密に連携。

1) ベトナム PY VINAの操業改善

- CPO (工場長)及びCMO(原料購買・製品販売責任者)を大和グループから派遣。
- 短期間での課題抽出と改善を目指し、日本・タイからエンジニアを継続的に派遣。

2) 企業価値向上

- 環境/社会/ガバナンスにこれまで以上に力を入れ、対外的に発信する為、CSR委員会を立上げ。
- 8月には、ヤマトスチールが日本の鉄鋼メーカー初となる「エコリーフ環境認証」と「カーボンフットプリント」の2種を取得。

3) 中国のスクラップ輸入動向

- 2021年4月にはスクラップの輸入が解禁となる見通し。
- 中国政府は、2025年までに粗鋼生産に占める電炉鋼比率を20%まで引き上げる方針。
- スクラップ輸入がほぼゼロの今年1~9月の期間、半製品(ビレット・スラブ)の輸入が前年比で急増。
- 中国のスクラップ及び半製品需要動向は当面注視していく必要あり。

◆ 2021年3月期 年間配当予想 (2020年11月2日時点)

一株当たり 配当金	中間配当	期末配当 (予定)	年間配当 (予定)
	普通配当 40円	普通配当 40円	普通配当 80円

* 2020年11月2日公表

新型コロナウイルス感染症拡大により前期比減益が予想されておりますが株主各位の継続的なご支援にお応えするため、前年度の普通配当額を維持する予定としております。

◆ 自己株式の取得 – 取得した自己株式の累計 (2020年10月30日時点)

- 1) 取得した株式の総数 1,000,000株
- 2) 株式の取得価額の総額 2,580,192,800円

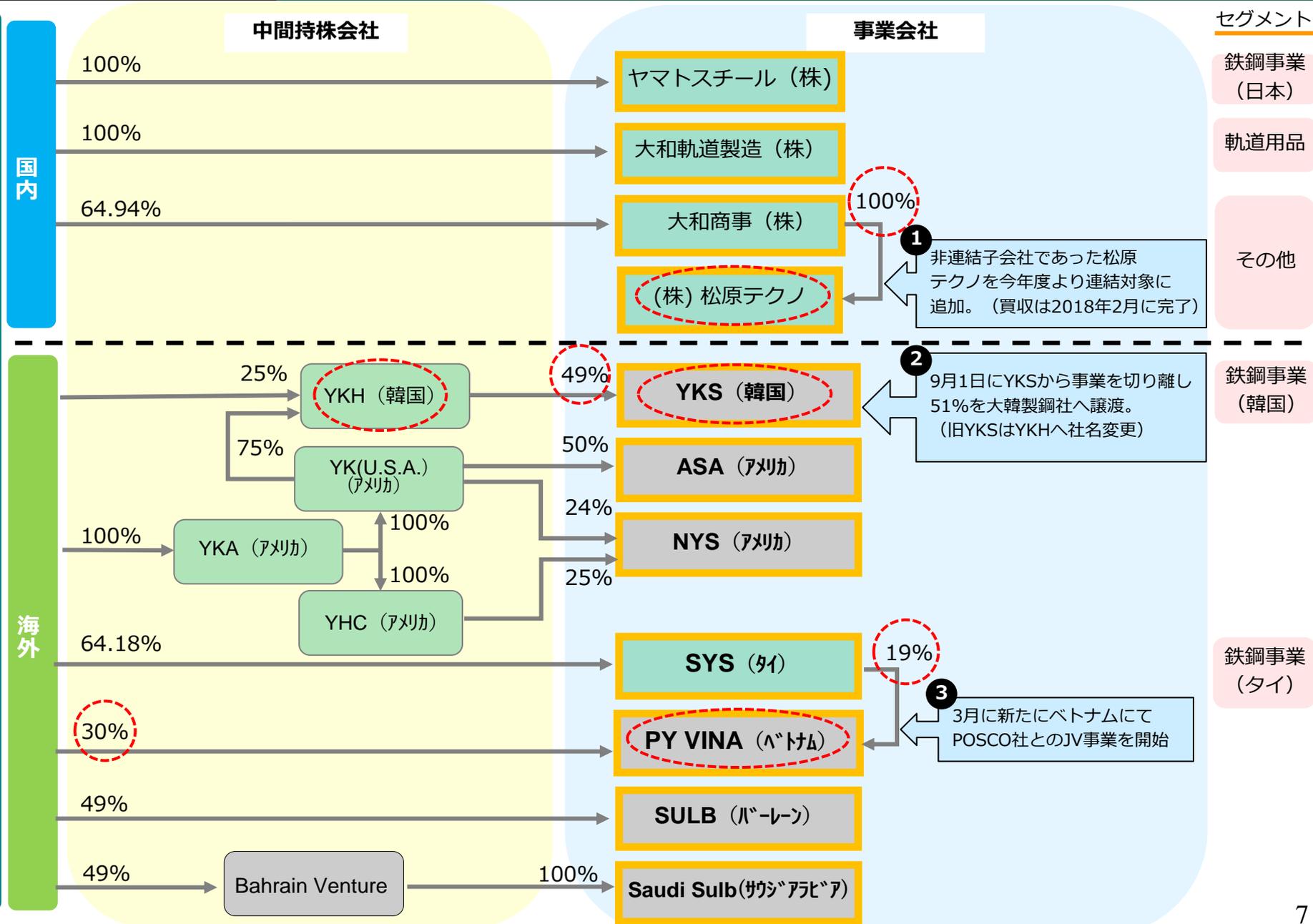
資本系統図及び会計期間

- ◆ 資本系統図 (2020.9.30時点)
- ◆ 会計年度及び2Q連結決算対象期間(事業会社)

資本系統図 (2020.9.30現在)

事業会社
 中間持株会社
 持分法適用会社
 連結子会社

大和工業株式会社(持株会社)

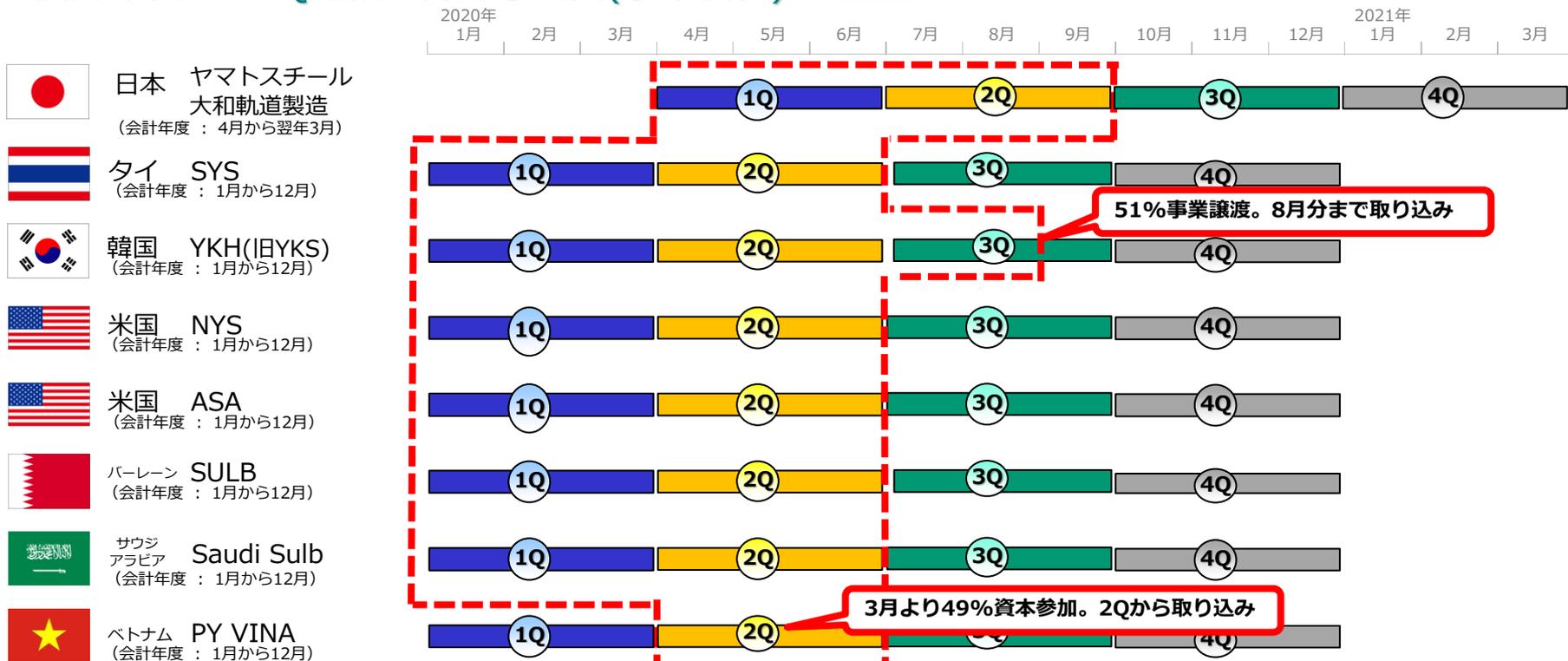


略語の説明

	タイ	SYS	Siam Yamato Steel Co., Ltd.
	韓国	YKH (IBYKS)	Yamato Korea Holdings Co., Ltd.
	米国	NYS	Nucor-Yamato Steel Company
	米国	ASA	Arkansas Steel Associates, LLC
	バーレーン	SULB	Sulb Company BSC(c)
	サウジ アラビア	Saudi Sulb	United Sulb Company (Saudi Sulb) LLC

	ベトナム	PY VINA	POSCO YAMATO VINA STEEL JOINT STOCK COMPANY
	韓国	YKS (新YKS)	YK Steel Corporation
	米国	YKA	Yamato Kogyo America, Inc.
	米国	YHC	Yamato Holding Corporation
	米国	YK (USA)	Yamato Kogyo (U.S.A) Corporation
	バーレーン	Bahrain Venture	United Steel Company("Sulb") Bahrain Venture Co.W.L.L

会計年度及び2Q連結決算対象期間(事業会社)



2020年度 第2四半期連結業績

国内各社：2020年4月～9月

海外各社：2020年1月～6月

但し、鉄鋼事業(韓国)は2020年1月～8月、
PY VINAは2020年4月～6月

➤ 2020年度 第2四半期 連結業績実績（前期実績比較）

	前2Q実績	当2Q実績	増減	増減率
売上高	98,602百万円	84,236百万円	△14,366百万円	△14.6%
営業利益	6,967百万円	6,833百万円	△134百万円	△1.9%
経常利益	14,830百万円	12,962百万円	△1,868百万円	△12.6%
純利益（親会社株主）	10,096百万円	1,940百万円	△8,156百万円	△80.8%

売上高

鉄鋼（日本） 5,865百万円減。販売数量減及び販売単価低下による。
 鉄鋼（韓国） 1,380百万円増。当期は1-8月を含む。1-6月での前期比較では、販売数量は減少、販売単価も低下し減収。
 鉄鋼（タイ） 10,872百万円減。販売数量減及び販売単価低下による。

営業利益

鉄鋼（日本） 1,101百万円減。販売数量減及び鋼材マージン縮小により減益。
 鉄鋼（韓国） 833百万円増。当期は1-8月を含む。1-6月での前期比較では、販売数量減も鋼材マージン改善等により増益。
 鉄鋼（タイ） 52百万円減。鋼材マージン若干改善及びスクラップ使用単価低下による歩留損縮小等により前期並みの利益を確保。

経常利益

持分法投資利益は988百万円減。 また、金利の低下に伴い受取利息が739百万円減。

純利益

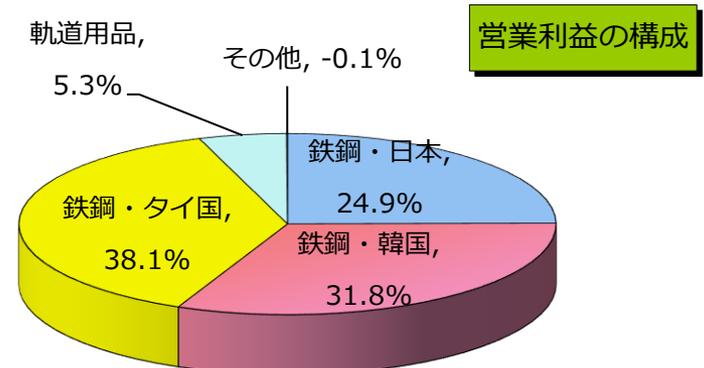
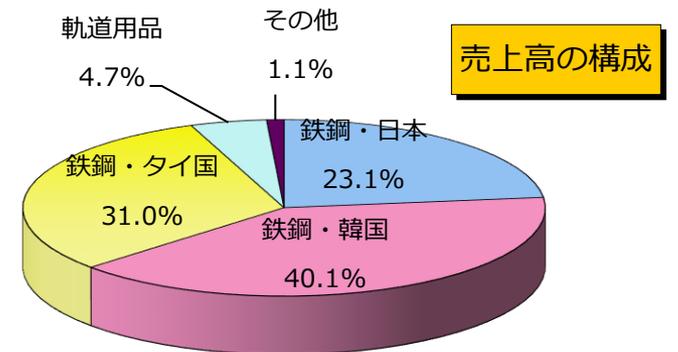
8,156百万円減。YKS株式51%の大韓製鋼社への売却に伴い「関係会社株式売却損」7,427百万円を計上したことによる。

2020年度 2Q連結業績実績詳細 (前期実績比較)

(単位:百万円)

	内 訳						
	セグメント別	連結合計	鉄鋼・日本	鉄鋼・韓国	鉄鋼・タイ国	軌道用品	その他
2Q実績	売上高	84,236	19,486	33,755	26,114	3,979	899
	営業利益(セグメント別)	7,940	1,978	2,525	3,022	420	△4
前2Q実績	売上高	98,602	25,351	32,374	36,987	3,736	153
	営業利益(セグメント別)	8,033	3,080	1,691	2,969	285	6
差異	売上高	△14,366	△5,865	1,380	△10,872	243	746
	営業利益(セグメント別)	△93	△1,101	833	52	134	△11

	2Q実績	前2Q実績	差異
営業利益(セグメント別)	7,940	8,033	△93
全社費用	△1,108	△1,066	△41
営業利益	6,832	6,967	△134
持分法投資利益	4,953	5,941	△988
その他営業外収益	1,576	2,469	△893
営業外費用	400	548	△147
経常利益	12,961	14,830	△1,868
特別利益	2	3	△1
特別損失	7,579	33	7,545
税金費用	2,626	3,736	△1,110
当期純利益	2,757	11,063	△8,305
非支配株主利益	817	967	△149
親会社株主利益	1,940	10,096	△8,156



◆ 取引の概要及び目的

当社は2020年9月1日付で、連結子会社であるYKH(旧YKS)が営む鉄鋼製品の製造販売事業を会社分割により、新設会社のYKS(新YKS)に承継させ、2020年9月8日付でYKS株式の51%を大韓製鋼社に譲渡。(事業分離日2020年9月1日)

主な理由としては、足元の同国における棒鋼市場の縮小及び競争環境の激化に対処し、今後同事業の競争力を一層強化し収益性の更なる向上を図るため、同国の鉄鋼業界に精通した戦略的パートナーが必要と判断したため。

◆ 譲渡価額 3,823百万円

◆ YKSに移転した資産/負債の額

流動資産	14,752百万円
固定資産	8,100百万円
資産合計	22,852百万円
流動負債	7,799百万円
固定負債	36百万円
負債合計	7,836百万円

◆ 損失の額

関係会社株式売却損 7,427百万円
大韓製鋼社に譲渡したYKS株式51%の売却損及びYKHが継続保有するYKS株式49%に係る再評価差額の合計額。

◆ 鉄鋼・韓国の収益状況 (2020年1~8月)

売上高	33,755百万円
営業利益	2,525百万円

2020年度 2Q累計実績概況（日本）

日本



鉄鋼事業(日本)：ヤマトスチール

- コロナ禍により荷動きは力強さを欠く状況が継続。ECサイトの活用や強みである短納期対応の拡充に製販一体で取り組むとともに、原料価格の上昇を鋼材価格に浸透すべく努め、一定の収益を確保。
- 一般社団法人サステナブル経営推進機構が認証する「エコリーフ環境ラベル」及び「カーボンフットプリント」の2種類の環境宣言の認証をH形鋼等6製品において取得。鉄鋼業界で2種の環境認証取得は、国内初。

売上高【日本】



営業利益【日本】



2020年度 2Q累計実績概況 (韓国)

韓国



鉄鋼事業(韓国) : YKH(IBYKS)

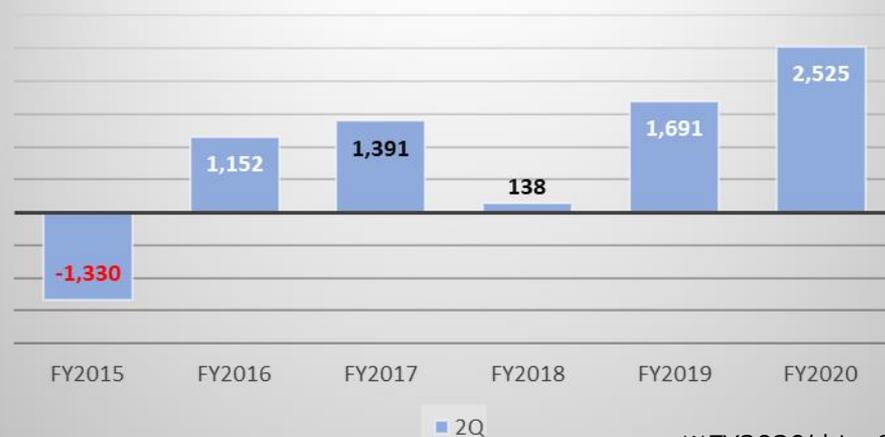
- 韓国政府による不動産取引規制等により鋼材需要は縮小傾向。2月にはコロナにより建設現場の稼働率が低下。また、夏場の悪天候により建設工事の遅延もあり。
- 一方で、原材料価格が下落するなか、需給バランスの均衡に努めた結果、鋼材マージンは拡大。営業利益は前年同期比増益。

売上高【韓国】



※FY2020は1~8月

営業利益【韓国】



※FY2020は1~8月

2020年度 2Q累計実績概況 (タイ)

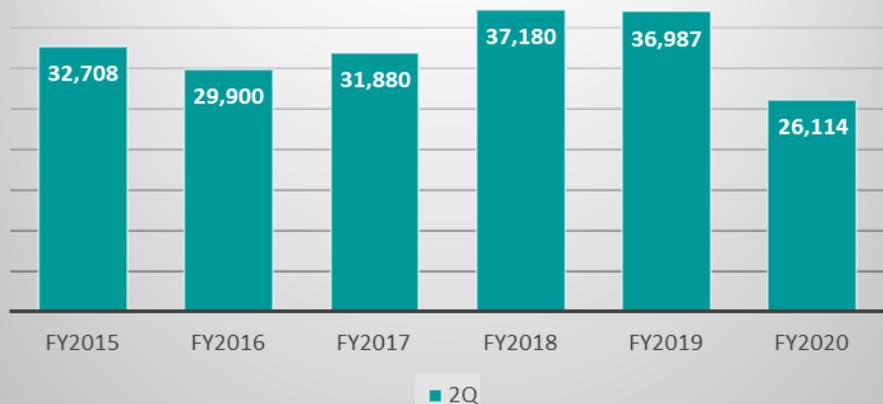
タイ



鉄鋼事業(タイ) : SYS

- タイ国内需要は民間投資が低迷、公共投資向けが下支えの状況が継続するなか、ロックダウンによる経済活動停滞や輸入材の影響あり。輸入材対抗措置として、鋼材物流センターの屋内保管能力を活用した在庫販売を開始。現在対象サイズを8サイズまで拡充し、顧客サービスの強化に努める。
- 主要輸出先である東南アジア市場では低調な需要に加えパーツ高による影響を受けるなか、海外メーカーとの激しい競争環境が継続。また、感染症対策を目的とし、一部輸出先国で輸入規制が敷かれている事から販売量は大幅に減少。

売上高【タイ国】



営業利益【タイ国】



➤ 2020年度 2Q累計実績概況 (持分法適用会社)



持分法投資利益



米国

- 感染症拡大を受け、建設工事の一時中断など懸念があったものの影響は限定的。
- 堅調な非住宅建設需要を背景に、販売数量は前年同期比で増加し収益も増加。

中東

- 感染症拡大による世界経済悪化への懸念から、GCC諸国の経済指標である油価が大きく下落。政府支出が縮小し、また建設活動や輸送が停滞している影響もあり形鋼需要は低迷。
- 鉄鉱石価格も依然として高値圏で推移しており、鉄鉱石ペレットを主原料とするSULBではコスト面でも厳しい状況。製品の販売数量、中間材であるDRI・半製品の販売数量とも前年同期比で減少。

ベトナム

- 感染症拡大への懸念から、経済活動は停滞。鋼材需要も低迷。
- 株式取得以降、Webミーティングを通じて連携を強化し、9月にはエンジニアを現地に派遣。品質向上やコスト低減等に取り組み、業績の回復に注力。

参考情報

- ◆ 換算レート・トン数表示
- ◆ 鉄鋼事業所別 販売トン数・鋼材マージンの推移
- ◆ 減価償却費及び設備投資
- ◆ 連結配当性向の推移

➤ 換算レート・トン数表示

① 連結財務諸表作成時の換算レート

損益計算書 - 2Q累計平均

	(前期)	(当期)
Dollar	109.98Yen/Dollar	108.25Yen/Dollar
Baht	3.49Yen/Baht	3.41Yen/Baht
Won	10.42Won/Yen	11.12Won/Yen

貸借対照表 期末日

	(2019年度末)	(2020年2Q末)
Dollar	109.55Yen/Dollar	107.74Yen/Dollar
Baht	3.63Yen/Baht	3.49Yen/Baht
Won	10.57Won/Yen	10.98Won/Yen

	(2020年3月末)	(2020年9月末)
Dollar	108.83Yen/Dollar	105.81Yen/Dollar

***参考：2020年度予想作成に用いた
平均換算レート**

	通期予想(今回)	前回予想	前年実績
Yen/Dollar	106.69	106.63	109.25
Yen/Baht	3.38	3.39	3.53
Won/Yen	11.17	11.30	10.67

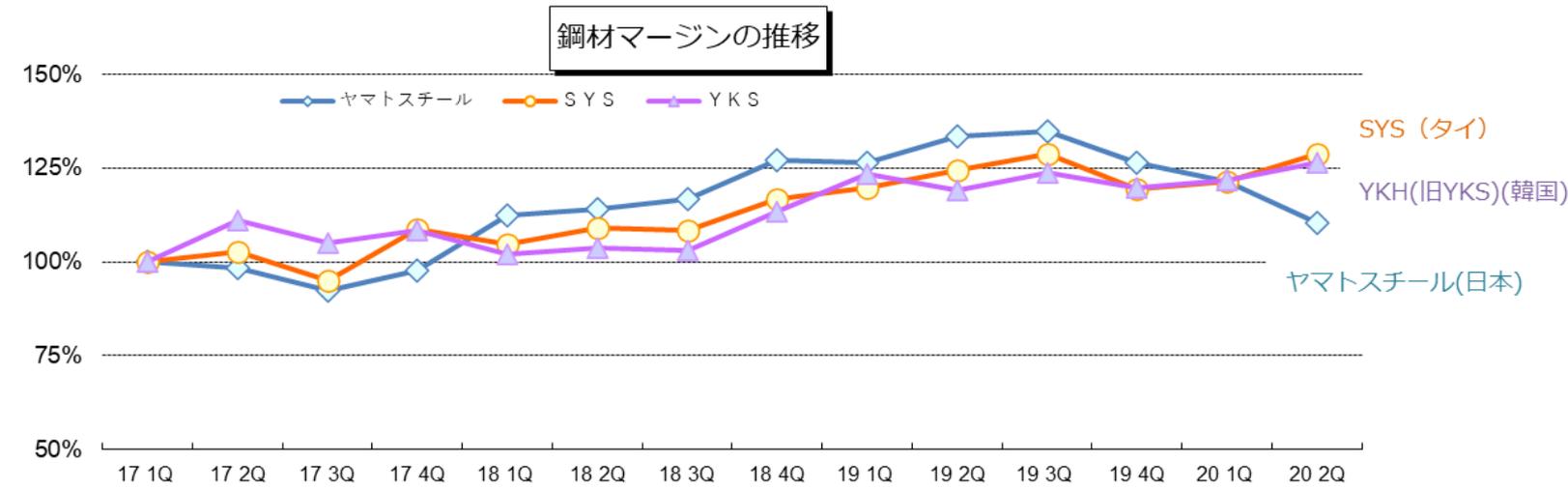
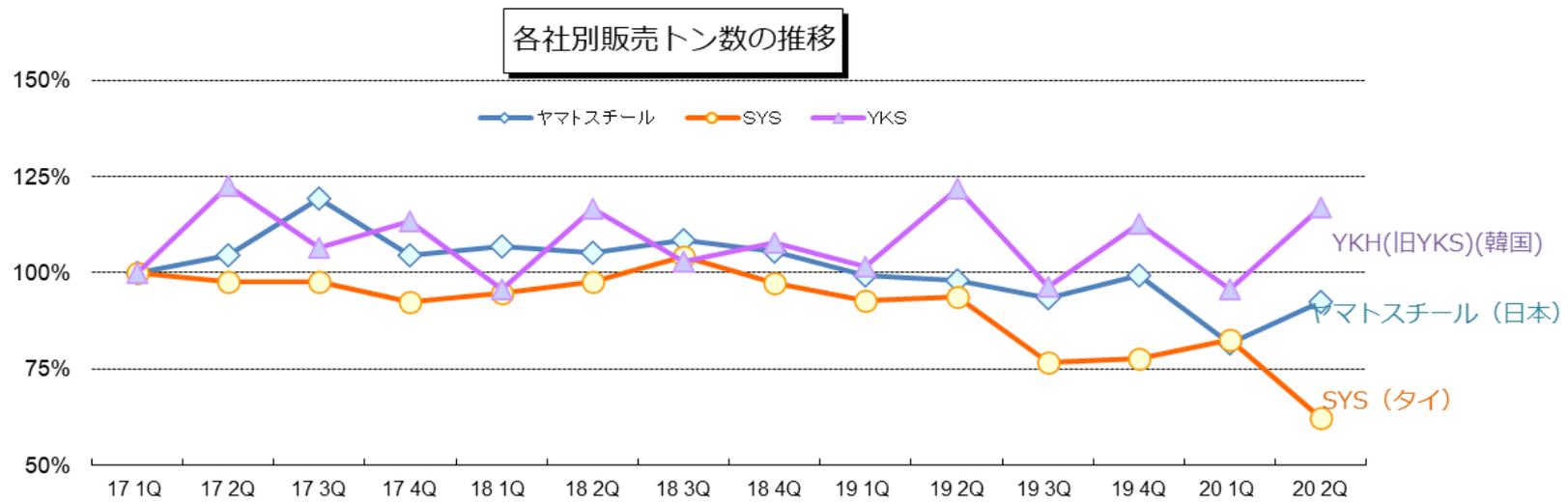
***参考：2020年12月末、2021年3月末
予想期末日レート**

	(2020/12末)	(2021/3末)
Yen/Dollar	105.00	105.00

② トン数表示

NYS、ASA・・・ショートトン
 ヤマトスチール、YKS、SYS、SULB、Saudi Sulb、PY VINA・・・メトリックトン

鉄鋼事業所別 販売トン数・鋼材マーゲンの推移 (2017~2020.2Q)



※20 2Q : ヤマトスチール(日本)/7-9月 、YKH(旧YKS)(韓国)/4-6月 、 SYS(タイ)/4-6月

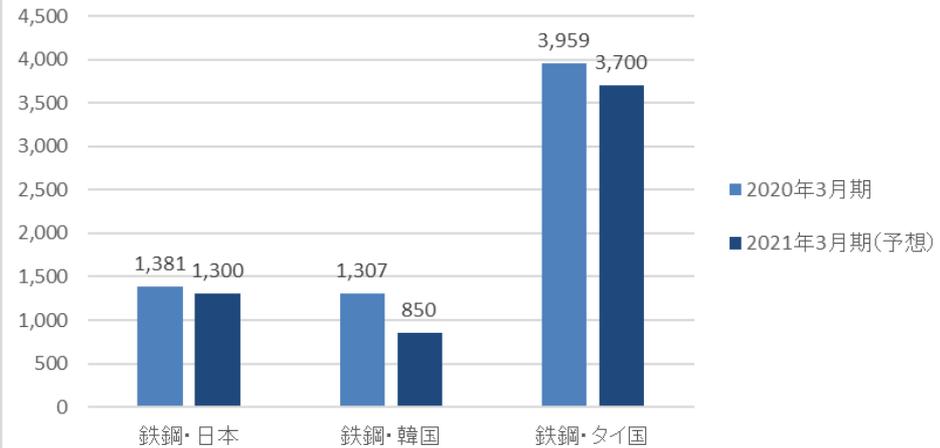
➤ 減価償却費及び設備投資

減価償却費

(単位: 百万円)

セグメント区分	2020年3月期	2021年3月期(予想)
鉄鋼・日本	1,381	1,300
鉄鋼・韓国	1,307	※ 850
鉄鋼・タイ国	3,959	3,700
軌道用品	334	350
その他	33	100
全社	69	100
合計	7,085	6,400

減価償却(セグメント別)

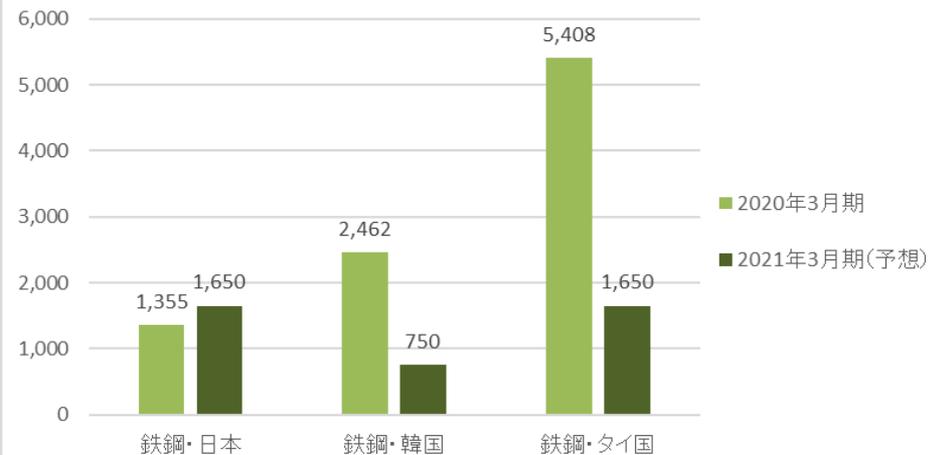


設備投資

(単位: 百万円)

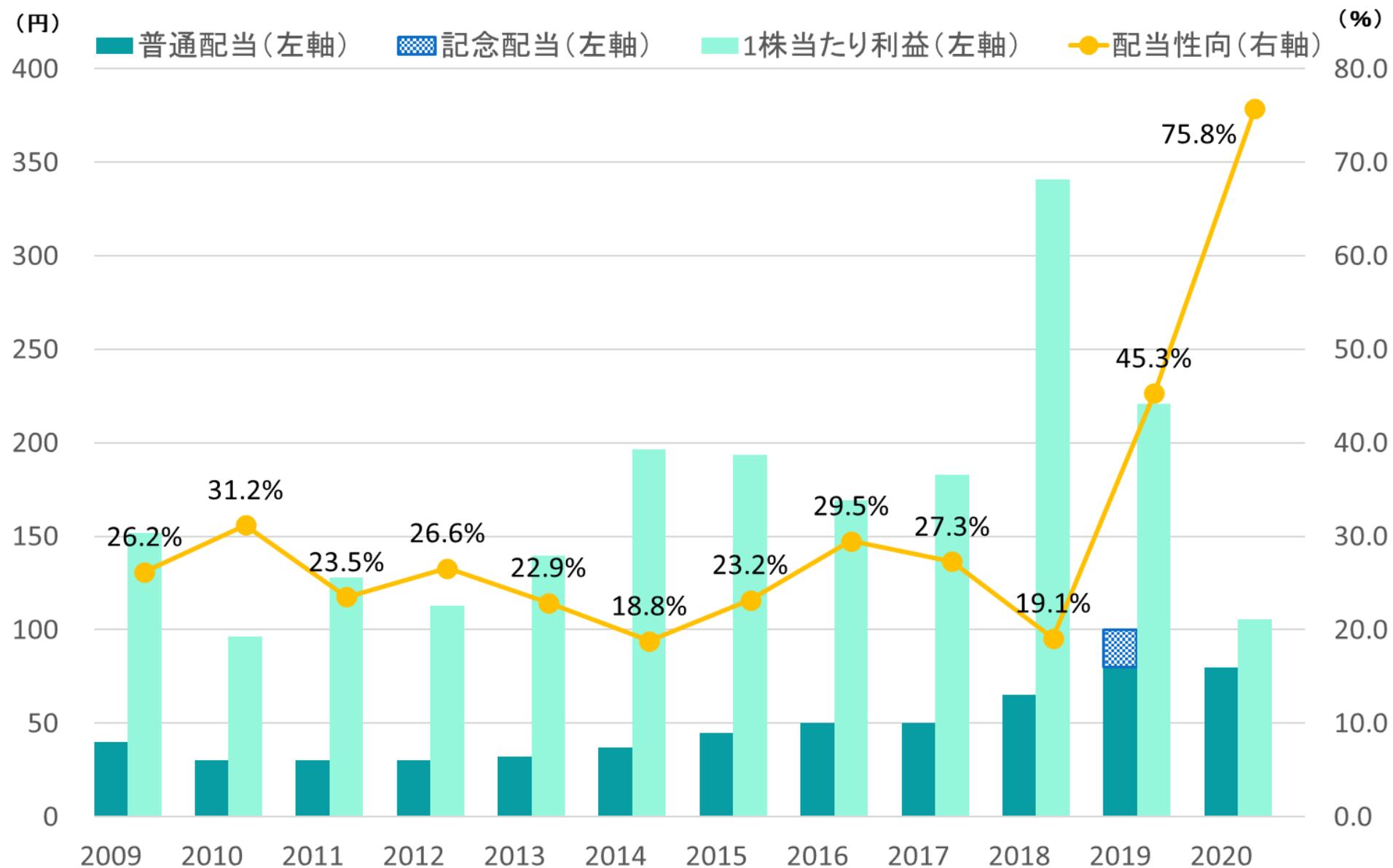
セグメント区分	2020年3月期	2021年3月期(予想)
鉄鋼・日本	1,355	1,650
鉄鋼・韓国	2,462	※ 750
鉄鋼・タイ国	5,408	1,650
軌道用品	282	1,050
その他	28	100
全社	241	100
合計	9,780	5,300

設備投資(セグメント別)



※ 鉄鋼事業・韓国は2020年1月～8月

➤ 連結配当性向の推移



ありがとうございました



大和工業株式会社

東証1部【証券コード5444】